

第1学年 国語

第1学年の学習到達目標

- (1) 相手に応じ、経験した事などについて、事柄の順序を考えながら話すことや大事なことを落とさないように聞くことができるとともに、話し合おうとする態度を育てる。
- (2) 経験した事や想像した事などについて、順序が分かるように、語や文の続き方に注意して文や文章に書くことができるとともに、楽しんで表現しようとする態度を育てる。
- (3) 書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながら読むことができるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。

第1学年の主な学習内容

学期	単元名	学習のねらい	学習内容
前期	みつけたよ	●絵から見つけた言葉や想像したことなどを先生や友達に話し、話すことに慣れる。	○各場面の絵を見て、描かれているものを見つけたり、会話を想像したりして話す。
	はきはきあいさつ	●あいさつの言葉を考えてはっきりと話す。	○あいさつの言葉を言う。
	ほんがたくさん	●本に興味を持ち、読み聞かせを楽しんだり、読みたい本を選んだりする。	○興味を持った本を選んで、読み聞かせを聞いたり、自分で読んだりする。
	あいうえおのうた あいうえお/じをかこう	●絵と言葉を結びつけて正しく発音したり、言葉を平仮名で書いたりする。	○言葉遊びの詩を楽しむ。 ○字形、運筆に注意し、平仮名を書く。
	あめですよ ふたとぶた	●場面の様子を想像しながらお話を読んで、お話の楽しさを味わう。	○場面の様子を想像しながら、お話を楽しんで読む。 ○濁音、半濁音の発音と表記
	あひるのあくび みんなであいうえお	●言葉のリズムを楽しみながら詩を音読し、五十音表について理解する。	○言葉の意味を考えてはっきりと音読する。 ○五十音図
	かいがら	●様子を思い浮かべながらお話を楽しんで読む。	○場面ごとに区切って、登場人物の行動や気持ちを想像しながら音読する。 ○役割読みをしながら全文を読み、くまの子やうさぎの子に伝えたいことを発表する。
	よんでねきいてね	●自分の経験を短い文で書いて相手に伝える。	○学校での経験を思い出し、伝えたいことを1～2文で書く。 ○書いたものを友達に読んでもらったり、みんなの前で読みあげたりする。
	どうやってみをまもるのかな	●書かれている内容を正しく読み取る。	○冒頭の文を読み取り、全体を四つのまとまりに分ける。 ○動物の身の守り方を正しく読み取り、教材文と同じような述べ方で発表する。
	こんなことしたよ	●経験したことから題材を選び、文章に書いて知らせる。	○家の人に知らせる目的を持ち、学校で経験したで知らせたいことを書き、発表する。 ○主述の照応や句読点の表記などに注意しながら、読み手を意識して文章に書く。
	おおきなかぶ	●お話のおもしろさを楽しんで読む。	○場面の様子や人物の気持ちを想像しながら楽しんで読む。
	えにつきをかこう	●生活の中で経験したことを絵日記で伝える。	○生活を振り返り、心に残ったことについて書くことを決め、絵と文章で表す。
	あるけあるけ/木	●詩を声に出して読み、言葉の響きを楽しむ。	○音読の工夫を取り入れたり体を動かしたりしながら音読する ○自分が木だったらと想像し、そのことをふまえて音読する。
	かぞえうた	●漢字に対する興味・関心を持ち、漢字を正しく読み書きする。	○漢数字や助数詞について気づいたことを発表する。 ○自分の「かぞえうた」を作って、漢数字やものの数え方に親しむ。
かんじのはなし	●漢字の成り立ちに興味・関心を持ち、漢字を正しく読み書きする。	○象形の部分と指事の部分に分けて、それぞれの漢字の成り立ちを読み取る。	
一 おはなしをたのしんでよもう サラダでげんき	●人物の登場する順序に注意してお話の展開を読み取るとともに、読んだ本のおもしろかったところを紹介する。	○人物の登場する順序に気をつけて読む。 ○いろいろな物語を読んで紹介する。(読書)	
わたしのはっけん ・かんじのれんしゅう	●身の回りのものをよく見て、気づいたことを文章に書く。	○身の回りの動植物の様子をよく見て気づいたことを文章に書く。	
二 のりもののことをしらべよう いろいろなふね	●説明文を正しく読み取り、興味のある乗り物を調べて発表する。	○順序に従って正しく内容を読み取る。 ○他の乗り物について、本を読んで調べる。	

後期	「すきなものクイズ」をしよう	●伝えたいことをはっきり話したり、聞いたことについて質問したりして対話をする。	○クイズの出し方や質問・応答の仕方を理解し、練習する。
	三 いろいろなおはなしをよもう おととねずみチロ	●登場人物の様子を思いうかべながら読む。	○場面の様子や人物の気持ちを思いうかべながら読む。
	むかしばなしをたのしもう	●昔話の読み聞かせを聞いたり、自分で読んだりして楽しむ。	○読み聞かせを聞き、昔話の語り口調や話の展開などに親しむ。
	「じゃんけんやさん」をひらこう	●新しいじゃんけんを考えて、その仕組みを分かりやすく説明する。	○じゃんけんの仕組みや、新しく考えたじゃんけんについて対話をする。
	ことばあそびをしよう	●言葉遊びのおもしろさを知り、自分で考えた言葉遊びうたを作る。	○擬音語・擬態語、折句を使って言葉遊びうたを作る。
	四 いろいろなやりかたをくらべてかんがえよう 歯がぬけたらどうするの	●自分ならどうするかを考えながら読む。	○紹介されている国の方法を想像して説明文を読み、観点に沿って表にまとめる。
	たのしかったね、一年生 ・かたかなのれんしゅう	●1年間を振り返り、心に残った出来事、様子が分かるように文章に書く。	○教えてあげたい出来事について、そのときの様子や気持ちを思い出し、文章に書く。 ○片仮名を書く。
	五 おはなしのすきなところをはっぴょうしよう 花いっぱいになあれ	●お話を読み、好きなところを選んで発表する。	○コンの行動・会話を手がかりに、コンの気持ちについて読み取る。 ○物語の好きな部分を選んで視写し、音読の練習をする。

評価の観点・方法

<p>(1) 評価の観点</p> <p>【国語への関心・意欲・態度】 国語に対する関心を持ち、話し合ったり、楽しく書いたり、楽しんで読書したりしようとする。</p> <p>【話す・聞く能力】 相手に応じ、経験した事などについて事柄の順序を考えながら話したり、大事な事を落とさないで聞いたりする。</p> <p>【書く能力】 経験した事や想像した事などについて、順序が分かるように、語や文に注意して文や文章を書く。</p> <p>【読む能力】 書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながら読む。</p> <p>【言語についての知識・理解・技能】 音声、文字、語句、文や文章、言葉遣いなどの国語について基礎的な事項について理解している。</p>	<p>(2) 評価の方法</p> <p>① ペーパーテストだけでなく、発表の様子、ノート、作文、ワークシート、疑問、願いなど、様々な面から評価します。</p> <p>② 話し合い活動、劇、紙芝居、音読などの表現活動では、自己評価・相互評価を取り入れ内容の充実を図ります。</p> <p>③ 一人一人の学習状況に応じて、励ましたり、ほめたりする評価を繰り返し行います。</p>
--	---

特色ある学習方法

<p>(1) しりとり、言葉遊びなどのゲーム的な要素を取り入れ、楽しみながら学習をします。</p> <p>(2) 図書室を利用したり、読み聞かせをしたりして読書への関心を高めます。</p> <p>(3) 班や目的に応じたグループを構成し、話し合い活動や表現活動などに生かします。</p> <p>(4) 基礎・基本を大切に、文字指導、音読、話し方など繰り返し学習します。</p>
--

使用教材等

<p>○ 教科書「新しい国語 1年」(東京書籍)</p> <p>○ ひらがなプリントを使用し、ファイルなどにとじます。</p> <p>○ 漢字ドリルを使用します。</p> <p>○ 鉛筆は、Bより濃いものを使います。</p>
--

留意事項

<p>(1) 家庭での音読にご協力をお願いします。 文章を正しくすらすら読めることは、内容理解につながります。音読カードを持たせますので、家庭での音読の様子を記入し、励ましていただくようお願いいたします。</p> <p>(2) ノートや課題プリントなど、少し気をつけて目を通していただくようお願いいたします。 1年生の国語科の学習は、これからの学習の基礎となるものばかりです。間違えたら直し、やりきる、丁寧に書くなど、この時期にしっかり定着させるためにも、家庭での協力をお願いします。</p> <p>(3) 家庭での読書をお勧めします。 読書は、思考力を深めたり根気を育てたりします。1年生のこの時期は、簡単な読み物でよいと思います。また、おうちの方が本を読んであげるのも効果的でしょう。</p> <p>(4) 国語・あのねノートなどのノート類は、はじめは学校で用意します。その後はご家庭で同じマス目のノートをご用意ください。</p>
